

# 人間環境大学大学院人間環境学研究科 教育課程および履修方法に関する規程

(準拠)

第1条 この規程は、人間環境大学大学院学則第28条第2項に基づき、人間環境学研究科の教育課程および履修方法について定める。

2 編入学又は転入学を許可された者の履修方法については別に定める。

(授業科目の区分)

第2条 授業科目は、開講対象により、次のように区分する。

(1) 演習および実習科目

(2) 講義科目

(修士課程の修了要件)

第3条 本学の修士課程を修了するためには、前条に定める科目群から以下の必要単位数を含め34単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本学大学院の行う修士論文の審査および試験に合格しなければならない。

(1) 中心として研究する科目が属する研究指導分野の科目

① 指導教員担当の演習(実習)科目および講義科目 計8単位以上

② 当該研究指導分野の科目で上記①以外の研究指導分野の科目 計8単位以上

(2) 中心として研究する科目が属する研究指導分野以外の科目

計4単位以上

(3) 人間環境専攻共通科目

計8単位以上

(履修方法)

第4条 当該年度に履修しようとする授業科目については、研究指導教員の承認を得た上で履修登録をしなければならない。

2 配当年次が1～2年次とされている演習(実習)は、2年間を通じて履修し、計4単位を修得する。

3 臨床心理士資格認定協会の定める〔必修科目〕および〔選択科目〕E群の履修は、臨床心理研究指導分野(臨床心理士の資格取得を目的とする)の学生を対象とする。

(臨床心理士の資格取得を目的とする履修方法)

第5条 臨床心理研究指導分野において、臨床心理士の資格取得を目指す者が中心として研究する科目の履修方法は、以下のとおりとする。

(1) 一年次に履修する科目

① 臨床心理学特論 4単位

② 臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)・臨床心理面接特論Ⅱ 各2単位

③ 臨床心理基礎実習 2単位

④ 臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)・臨床心理査定演習Ⅱ 各2単位

(2) 一、二年次に連続して履修する科目

① 心理学特別演習 4単位

(3) 二年次に履修する科目

① 臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習B)・臨床心理実習Ⅱ 各2単位

(開設する授業科目)

第6条 本研究科が開設する授業科目は別表のとおりとする。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、人間環境学研究科委員会の議を経て、学長が決定する。

附則 この規程は、平成15年4月1日から施行する。

附則 この規程(別表改正)は、平成19年4月1日から施行する。

附則 この規程(改正)は、平成20年4月1日から施行する。

附則 この規程(改正)は、平成27年4月1日から施行する。

附則 この規程(改正)は、平成29年4月1日から施行する。

附則 この規程(改正)は、平成30年4月1日から施行する。

附則 この規程(改正)は、平成31年4月1日から施行する。

附則 この規程(改正)は、令和3年4月1日から施行する。

附則 この規程(別表改正)は、令和3年4月1日から施行する。

別表

区分	分野	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考	
				必修	選択	自由		
授業科目の概要	演習及び実習科目	人間環境学研究科 人間環境専攻 修士課程					<p>学生は自己が研究指導を受ける指導教員担当の演習（実習）及び講義計8単位以上を取得し、さらにそれらの科目が属する分野の科目群から8単位以上を履修すること。</p> <p>上記の他に、講義科目・演習及び実習科目のなかから18単位以上取得すること（ただし、このなかには自分が研究指導を受ける分野以外の2分野の授業科目のそれぞれ4単位以上、計8単位以上が含まれること）。</p> <p>配当年次が1～2とされている演習（実習）は2年間を通じて履修し、計4単位を取得すること。</p> <p>「心理実践実習A」「臨床心理実習I（心理実践実習B）」における実習時間数については、合計450時間以上とする。</p> <p>「臨床心理基礎実習」及び「臨床心理実習II」は、週3時間の実習を年30週実施する。</p>	
		人間環境専攻 人間環境学演習	1～2	4				
		臨床心理	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	1		2		
			臨床心理査定演習Ⅱ	1		2		
			心理実践実習A	1		2		
			臨床心理基礎実習	1		2		
			臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習B）	2		2		
			臨床心理実習Ⅱ	2		2		
			心理学特別演習	1～2		4		
			認知心理学演習	1～2		4		
			社会心理学演習	1～2		4		
		犯罪心理学演習	1～2		4			
		環境科学	企業会計演習	1～2		4		
			環境経済学演習	1～2		4		
			環境保全演習及び実習	1～2		4		
			環境リスク管理演習及び実習	1～2		4		
			環境リスク管理基礎実習	1		2		
			開発人類学演習	1～2		4		
			野生動物学演習及び実習	1～2		4		
データアナリシス演習	1～2		4					

区分	分野	授業科目の名称	配当年次	単位数			備考
				必修	選択	自由	
授業科目の概要	人間環境専攻 共通科目	歴史文化特論	1・2		4		修士論文は修士号授与の必須条件。  修士論文執筆に際しては、指導教員の研究指導を受ける。
		臨床心理学特論	1		4		
	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	1		2			
	臨床心理面接特論Ⅱ	1		2			
	心理療法特論	1・2		2			
	投映法特論	2		2			
	グループ・アプローチ特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	1・2		2			
	心の健康教育に関する理論と実践	1・2		2			
	心理学研究法特論	1		2			
	学習心理学特論	1・2		2			
	比較行動学特論	1・2		2			
	認知心理学特論	1・2		4			
	社会心理学特論	1・2		4			
	犯罪心理学特論	1・2		4			
	心理統計法特論	1・2		2			
	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開Ⅰ）	1・2		2			
	心身医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開Ⅱ）	1・2		2			
	障害者心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	1・2		2			
	教育分野に関する理論と支援の展開	1・2		2			
	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	1・2		2			
	人間関係特論（産業・労働に関する理論と支援の展開Ⅰ）	1・2		2			
	産業・組織心理学特論（産業・労働に関する理論と支援の展開Ⅱ）	1・2		2			
	環境科学	環境経済学特論	1・2		4		
		企業会計特論	1・2		4		
		環境保全特論	1・2		4		
		環境リスク管理特論	1・2		4		
		開発人類学特論	1・2		4		
		野生動物学特論	1・2		4		
データアナリシス特論		1・2		4			
	修士論文（研究指導） ※註	2					

※註）修士論文の指導は、当該学生の研究指導担当教員がその演習（実習）等の時間を通じて行うものとし、単位数は設定しないものとする。

### 【臨床心理士の資格取得について】

臨床心理士の資格取得を目指す者については、上記備考欄の修了要件を満たすと同時に、以下の要件を充足するように科目を履修せねばならない。

#### 〔必修科目〕

臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）・臨床心理査定演習Ⅱ  
臨床心理基礎実習  
臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習B）・臨床心理実習Ⅱ  
臨床心理学特論  
臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）・臨床心理面接特論Ⅱ

#### 〔選択科目〕

A群：心理学研究法特論、心理統計法特論のうち1科目以上

B群：学習心理学特論、比較行動学特論のうちいずれか1科目以上

C群：産業・組織心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開Ⅱ）、人間関係特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開Ⅰ）のうちいずれか1科目以上

D群：精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開Ⅰ）、心身医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開Ⅱ）、障害者心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）のうちいずれか1科目以上

E群：心理療法特論、投映法特論、グループ・アプローチ特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）のうちいずれか1科目以上

\*「臨床心理実習Ⅰ・Ⅱ」における学外実習施設での実習の成果は、研究指導教員が報告を受け、その結果を評価に反映させる。

\*「心理学特別演習」は選択科目であるが、年間にわたって出席し、本分野の共同討議に参加して研究指導をうけるため、必ず履修すること。

\*〔必修科目〕および〔選択科目〕E群は、臨床心理研究指導分野の学生のみ履修可能である。

\*グループ・アプローチ特論を公認心理師受験資格取得に必要な科目「⑧家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践」として対応させる場合は、E群科目として履修認定されない。